

**天童** 第25回高校生ロボット相撲全国大会で、山形電波工業高(天童市、高橋健二校長)の3年菅原樹さんがラジコン型の部で準優勝に輝いた。同校勢の全国準優勝はおとしの自立型に次ぎ最高タイ。菅原さん自身3回目にして初の表彰台で「指導してくれた先生、支援してくれた親に結果で返せたかな」と語る。

## 菅原さん(山形電波工業高3年)が準V

ロボット相撲全国大会 ラジコン型の部



高校生ロボット相撲全国大会で準優勝に輝いた菅原樹さん  
 山形市・山形電波工業高

大会は、埼玉県のものづくりきた菅原さんと市川翔一さん、大学で11月26日に開催され、樋口光さんの3年生3人が全国コンピュータプログラムを内蔵した自立型、リモート操縦のラジコン型の2部門に、地区予選を突破した32台ずつが挑んだ。山形電波工業高は同校開催になった東北大会で2部門連覇を達成。CSC(コンピュータ・システム・クラブ)部を引っ張って

### 「指導、支援に結果で返せた」

決勝は強豪・観音寺総合(香川県)の選手。一本ずつを取り合ひ、菅原さんは最終戦で相手の横を取って攻めたが、膠着(こうちやく)状態に。勢いを付けるためにいったんバックしたところを回り込まれ、惜しくも土俵を割った。

1年時に東北で3位、2年時は東北で優勝しながら、全国では1〜2回戦負けだった。「あと数十戦で勝てたと思つて悔しいけど、最高の舞台での準優勝は素直にうれしい」と菅原さん。3年間を振り返り「構造や部品について、いろんな情報があり、アドバイスを受けるのもいいけど、最後に決めるのは自分。自分なりのマシンを目指してほしい」と後輩にエールを送った。

決勝は強豪・観音寺総合(香川県)の選手。一本ずつを取り合ひ、菅原さんは最終戦で相手の横を取って攻めたが、膠着(こうちやく)状態に。勢いを付けるためにいったんバックしたところを回り込まれ、惜しくも土俵を割った。